# 介護部会 湘南東ブロック会議 報告書

**実施日**　　令和1年　12月　4日（水　）　14：00～15：30

**会議実施会場**　　介護老人保健施設　藤沢ケアセンター

**参加人数**　　7施設　　10名　　参加
ふれあいの桜・クローバーヴィラ・湘南の丘・ケアパーク茅ヶ崎・
ふれあいの渚・浜之郷・藤沢ケアセンター

**議事項目**　　インシデント・ヒヤリハットの情報共有とケアの統一について

**内容**

A施設：細かい内出血斑も全てあげている。入所時のスキンチェックを大切にし、持込みの内出血斑は入所時に家族に説明していく。
職員には、毎月委員会で集計して、各フロアーに情報共有し、年1回勉強会を実施している。
レベルに合わせて家族に連絡する時間をマニュアル化している。

B施設：1cm以上の内出血斑のみインシデントにあげている。
処置が必要な内出血斑に関しては、アクシデントとしてあげている。
内出血斑に関しては家族の同意を得て、連絡・インシデントにもあげないケースもある。
職員には、分析した対応策を年1回勉強会で伝達している。

C施設：インシデントの評価は1週間ごとに評価している。
アクシデントに関しては各フロアーに配付し職員に周知している。
朝BOXにインシデントが入っていないか各自確認し意識ずけしていく
内出血斑対策のアームウオーマやレッグウオーマは施設で用意
100円ショップのDSカバーをフットレストに付けて保護している。
職員には、年2回勉強会を実施している

D施設：500円玉以上の大きさはインシデントとしてあげている。
ヒヤリハットの重複者に関しては、事故対策委員会でカンファレンスを行なっている。
1ヶ月に1回集計結果を職員に配付しているが減少につながっていない

E施設：内出血斑の出来やすい利用者には、家族承諾をもらい記録のみとしている。
認知があったとしても、居室間違いはインシデントとしてあげている。
セクハラ行為も事故としてインシデントとしてあげている。

F施設：離棟注意の利用者顔写真を各フロアーや事務所に貼ってある。
入所時に内出血斑の同意書をとっている

G施設：入所時主介者に内出血斑発生時についての対応について説明
家族の意向をカーデックスにはってある。
内出血斑は基本全てインシデントとしてあげているが、自立の利用者は記録のみのこともある。
インシデント・ヒヤリハットは月ごとに集計し時間・曜日・場所・内容別に出している。職員には年2回勉強会を開催しインシデント内容の報告や改善策についての研修を行っている。

その他：質問
＊落薬・誤薬・飲み忘れに対してどの様に対応しているのか？
参加施設の多数が、夜勤帯は介護が配薬している。夜勤帯の薬に関してのインシデントは介護が出している。